

ご挨拶

二松学舎大学21世紀COEプログラム「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」は、平成21年3月31日をもって文部科学省の補助事業期間が終了いたしました。5月には最終報告書の提出も終え、平成21年12月22日に事後評価結果が公表されました。

事後評価としては、「設定された目的は十分達成された」というもので、これは最上ランクの評価でございます。またその公表に付随して、「拠点形成の組織的・戦略的なシステムのモデル的なプログラム」として、本プログラムが4つの事例の一つに取り上げられました。いずれも誠に喜ばしいことでもあります。〔詳細は添付資料(抜)をご覧ください。〕

こうした良き結果を上げ得ましたのは、プログラムメンバーは申すに及ばず、両学部・大学院・大学事務局および法人の全面的協力のたまものであり、且つ具体的に援助・協力をいただいた方々、特に講演・講座・テーブルスピーチ、あるいはシンポジウムの立案から実施、機関誌への執筆等々、まことに多くの研究者や一般の方々から得ましたご支援のたまものであります。なかでも海外拠点リーダーの皆様には、この五年間国境をこえてのご支援・ご助言、さらには海外におけるシンポジウムや研究会、漢文読解講座の開催等、濃密な関係構築とその発展に、重大なご協力をいただきました。

小規模大学である本学が、広範で重深な対他の学術活動において、これだけの成果を上げ得ましたのは、ひとえにこれら全ての方々のご協力とご支援のたまものでございます。厚く御礼を申し上げます。

なお本学のCOEプログラムは、これをもって完全に終了するわけではなく、事後評価中に明記された問題点の解決も含めて、この事業を引き継いだ、より充実発展した活動が義務づけられております。本学では、その取り組みとして、佐藤進プログラムリーダーのもと、「日本漢文教育研究プログラム」を立ち上げ、具体的な継承事業もすでに活動を開始いたしました。みなさまにはこれまでのご厚誼に感謝いたしますとともに、倍旧のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成22年1月

二松学舎大学21世紀COEプログラム
拠点リーダー 高山節也

* 公表の詳細については、学術振興会のホームページ「21世紀COEプログラム」をご参照いただければ幸いです。<http://www.jsps.go.jp/j-21coe/index.html/>